



島根県内で見つけた「エシカル」につながる（エシかってる）行動や事柄を Facebook で紹介しています。

vol.3

出雲：エシカルマルシェ 誰にもできるSDGsのヒント

Upload:

2021/8/26

立秋とはいえ、蒸し暑い8月最初の日曜日。

出雲市役所の駐車場広場は、爽やかな熱気にあふれていた。

この日、開催された「わたしにもできるSDGs エシカルマルシェ」には、市内各地区の婦人団体が地域で活動する人に声がけした20張り近いテントが並んだ。有機農業、国際交流、フェアトレード、古布のリサイクル・・・出雲市周辺で、よくもこれだけの活動を集められたものだと感心する。

有機農園のブースには、説明と写真で詳しい農法の解説があり、

古布のリサイクルでは、古布を裂いて織り上げる織機の体験があり、

出雲で栽培されたブラジル野菜の料理を提供するブースがあり、

テントを覗いて2、3言問いかけると、並べられた商品や活動の話などが即座にいくつも返ってくる。

単なる物販ではなく、SDGsに、エシカル消費に関する物語を持ち寄るイベントなのだ。

ささっと見にいっつもりが、蒸し暑い中で1時間余りもブースを回り続けてしまった。

小さなお子さんをつれたご家族や、

仲良しグループが、心地よい芝生を踏みながらイベントを楽しんでいる。

外国語を話す声や、男性の姿も混じっている。

買い求めたゆずジュースを飲みながら

「多様性」の渦巻く様を眺めた。



ドライフルーツの量り売りのテントで会計を待っていると、その一角で小学生らしい男の子が

「この容器は、洗って繰り返し使えます。使い捨てではないんですよ」と、来訪客に商品の説明を始めた。私を接客しているスタッフのご子息らしい。

優秀な営業ぶりを褒めると、「教えた訳ではないんですけど、私の説明を聞いていたらしく、いつの間にかやってくれてるんです」と。

出雲には、SDGsとエシカル消費の個性的な花が、ぽつりぽつりと咲いている。

この多様性が交配し、結実し、次の世代は、どんな生活を紡いでいくのだろうか。

「エシカル消費」の推進

「エシカル (ethical)」とは、「倫理的、道徳的」という意味の英語。

「エシカル消費」とは、より良い社会に向けた、人や社会、環境などに配慮した消費行動のことです。

詳しくは、島根県消費とくらしの安全室の「エシカル消費の推進」のページをご覧ください。

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/syoku/shohi/kurasi_info/ethical.html

島根県環境生活部環境生活総務課
消費とくらしの安全室（島根県消費者センター）
〒690-0887 島根県松江市殿町8-3

島根県消費者センター

Facebookは
こちらから→



facebook.com/Shimane.CIC